



大分大学総務部総務課広報係
870-1192 大分市大字旦野原 700
TEL:097-554-7376 FAX:097-554-7413
MAIL:koho@oita-u.ac.jp

PRESS RELEASE (2024/5/30)

県政記者クラブ各社 殿

国立大学法人大分大学

学生たちが運営する「都町・昼カフェプロジェクト」 ～華都会の協力により経済学部生が臨時カフェをオープン～

令和6年5月22日の学長定例会見にて発表した標記の件について、改めてご案内いたします。

大分大学経済学部の渡邊ゼミの学生たち運営による都町・昼カフェ「cafe lantern (カフェ ランタン)」を momoKA 都町店にて開催します。

この取組は、昨年度の経済学部開講科目「ベンチャー実践論」で^{はなみやかい}華都会 (※)、大分県との連携事業として実施された都町活性化を検討した際に、学生から提示されたアイデアのひとつを自主的に実現したものです。

報道機関の皆様におかれましては、取材についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

(※) 都町に店舗を構える女性経営者の会

記

日 時：令和6年6月1日（土）11時～14時半

場 所：大分市都町 momoKA 都町店（大分市都町3丁目5-25 第5パルコ1F）

詳細については、別紙 会見資料、チラシをご参照ください。

取材にお越しの際は、事前にご連絡をお願いいたします。

(問合せ先)

大分大学 経済学部

担当：渡邊 博子（わたなべ ひろこ）

TEL：097-554-7702（研究室）

E-mail：watanabe-hr@oita-u.ac.jp

■情報の名称

学生たちが運営する「都町・昼カフェプロジェクト」 ～華都会の協力により経済学部生が臨時カフェをオープン～

■内容

大分市都町にぎわい作戦として、経済学部の渡邊ゼミの学生たちが運営する都町・昼カフェ「cafe lantern (カフェ ランタン)」を6月1日(土)の11時～14時30分の時間帯で、momoKA 都町店にて開催します。カフェでは軽食と飲み物が準備されていますが、予約すればテイクアウト(30食限定)もできます。

産官学連携のもと、授業の一環として始まったこのプロジェクトは、若者を中心に、普段味わえない空間でのカフェ体験を目指しています。今後は、月1回での開催を予定しており、関係各位のご協力のもと、小さなイノベーションを起こしていこうと奮闘しています。

■経緯と特徴

本プロジェクトは、経済学部2023年度開講科目「ベンチャー実践論」※に、大分市都町で店舗を構える女性経営者たちの会である「はなみやかい華都会」が登壇されたことに始まります。大分県商工観光労働企画課から、コロナ禍等で元気のなくなった都町を学生たちの“若者視点”でにぎわいを取り戻せないだろうかという依頼のもと、この授業が実現しました。

12月7日に都町の現況を知り、「大分県最大の歓楽街、都町を発展させるにはどうすれば良いか?」という課題を提示、5つの班に分かれての話し合いやアイデア出し、成果発表と講評まで実施しました。学生35名に、「はなみやかい華都会」からの女性経営者9名、大分県等からの10数名も加わり熱気に満ちた授業となり、多くのメディアにも取り上げていただきました。

当日の学生からのアイデアには、学割制度の導入、QRコード付きの安全シールで安心感を与える、夜に限定されないまちづくりとして学生たちによる昼間の店舗活用(夜ママ・昼カフェによる24時間営業)、若者の悩み相談や都町攻略法などを伝授してもらう「ハハ活」「おふくろ活」など、学生を顧客として考えるか、あるいは地域を盛り上げる活動主体として考えるかという視点からの提案となりました。

本来であれば、授業としてはここで終わりですが、「夜ママ・昼カフェ」を提案した班のメンバーに渡邊ゼミの学生が、「ゼミ活動の一環として実践したい」と提案し、まさしく、産官学連携のもとで自主的にスタート。リーダーの佐々木千夏、松尾侑依(ともに令和6年5月現在 経済学部イノベーション学科4年生)を中心に、関係各位との打ち合わせや折衝も自分たちで行い、コンセプトづくり、目標やスケジュールの設定、メニュー作成、材料や加工方法の検討、価格設定、必要な法制度の確認、役割分担等々取り組んできました。

そしてまずはやってみようとのことから、プレオープンを3月7日(木)11時～14時30分とし、ふんわり卵の絶品ハムトースト、クリームソーダ、コーヒーなど数種類のメニューを用意。身近な人たちに声がけをして、当日は約40名の方々が来店してくれました。

本プロジェクトの教育的効果としては、学生たちが、地域を盛り上げる活動主体として、アイデアベースから実践までを自主的に行ってきたこと、その際、事業を運営していくための商品・サービスの提供、ターゲットの設定、収支の計画、部材の調達などを詳細に検討してきたこと、そのためには多くの方々の力や支援が必要であると再確認したこと、継続させるた

めの手法を考え実現していることです。これらは、社会イノベーション学科で培ってきた課題対応力やアントレプレナーシップの学びによる成果であると思われます。

月1回のみでの営業ではありますが、今回の取組により都町のイメージアップ及び学生のさらなる成長につながることを期待しています。

※「ベンチャー実践論」:この授業は経済学部社会イノベーション学科(2024年度より総合経済学科・社会イノベーションコースに変更)の3年生以上の専門科目で、ベンチャーや新規事業に関わる講義とともに、企業や自治体、組織などが抱えている課題を学生たちがグループあるいは個人で解決策を考えるというアイデア創出も取り入れたものです。

2023年12月7日(木)「ベンチャー実践論」での一場面



2024年3月7日(木) cafe lantern プレオープンの時の様子



■実施方法、対応状況 経済学部渡邊ゼミの学生たちによりカフェを開催。場所は都町の momoKA をお借りします。同所店主で、「華都会」事務局担当の佐藤理沙氏(株式会社モモカ代表取締役)の店舗全面協力のもとでの実施となります。

■実施時期等 2024年6月より月1回の予定
(営業日はインスタ _CAFE. LANTERN にて配信予定)

■実施場所等 大分市都町 momoKA 都町店
(大分市都町3丁目5-25 第5パルコ1F)

■問合せ先・電話 大分大学 経済学部
担当:教授 渡邊 博子(わたなべ ひろこ)
TEL:097-554-7702(研究室)
E-mail:watanabe-hr@oita-u.ac.jp

※取材にお越しくくださる場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

cafe lantern



_CAFE.LANTERN

テイクアウト予約は
こちらにDMで
お願いします！

大分大学経済学部
渡邊ゼミが
カフェをします！

cafe lantern
Instagram

6 / 1
OPEN

渡邊ゼミ
Instagram



OKSW12

- 場所:momoKA都町
- 日時:6月1日 11:00-14:30

〒870-0034 大分県大分市都町3丁目5-25 第5パルコ1F